<News Release>

2026 年 11 月 16 日
株式会社 Hakuhodo DY ONE
株式会社博報堂

Hakuhodo DY ONE と博報堂、エージェンティックコマース領域における、Shopify 連携ソリューション「Data Enrichment on Shopify」を提供 ～スペックだけでは捉えきれない生活者の意図や文脈をデータに付加し、AI による最適な商品発見から Shopify 上での購買までをシームレスに実現～

株式会社 Hakuhodo DY ONE（本社：東京都港区、代表取締役社長：北爪宏彰、以下 Hakuhodo DY ONE）及び株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、生活者に代わって AI エージェントが情報の検索・比較から決済までを代行する「エージェンティックコマース（Agentic Commerce）」領域において Shopify Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、日本カントリーマネージャー：馬場道生、以下 Shopify）のプラットフォームと連携した新ソリューションの提供を開始いたします。

■背景および概要

生成 AI や AI エージェントの進化に伴い、ユーザーが曖昧な意図や悩みを AI に伝え、AI が合致する商品を自律的に検索・提案し、購買代行までを行う「エージェンティックコマース」の時代が到来しています。こうした AI エージェントは、従来のキーワード検索とは異なり、ユーザーの文脈（コンテキスト）を読み取って商品を探索します。そのため、企業が保有する商品マスタが単なるスペック（機能や仕様）の羅列にとどまっている場合、AI の高度な文脈理解に応えきれず、推奨候補から外れてしまう可能性があります。

エージェンティックコマース時代の本格到来に先立ち、Hakuhodo DY ONE と博報堂は企業の商品データを AI が理解・活用しやすい形に整備し、新たな購買体験を生み出す Shopify 連携ソリューション「Data Enrichment on Shopify（データエンリッチメント・オン・ショッピファイ）」の提供を博報堂ＤＹグループの次世代コマース統合ソリューション「Agentic Commerce ONE™」の新たなラインナップとして開始いたします。博報堂の生活者理解に基づくデータ分析の知見と Shopify の強固なコマースプラットフォームを掛け合わせ、AI 時代における企業と生活者の新しい出会いと直感的でシームレスな購買体験の世界を実現します。

shopify × Agentic Commerce ONE

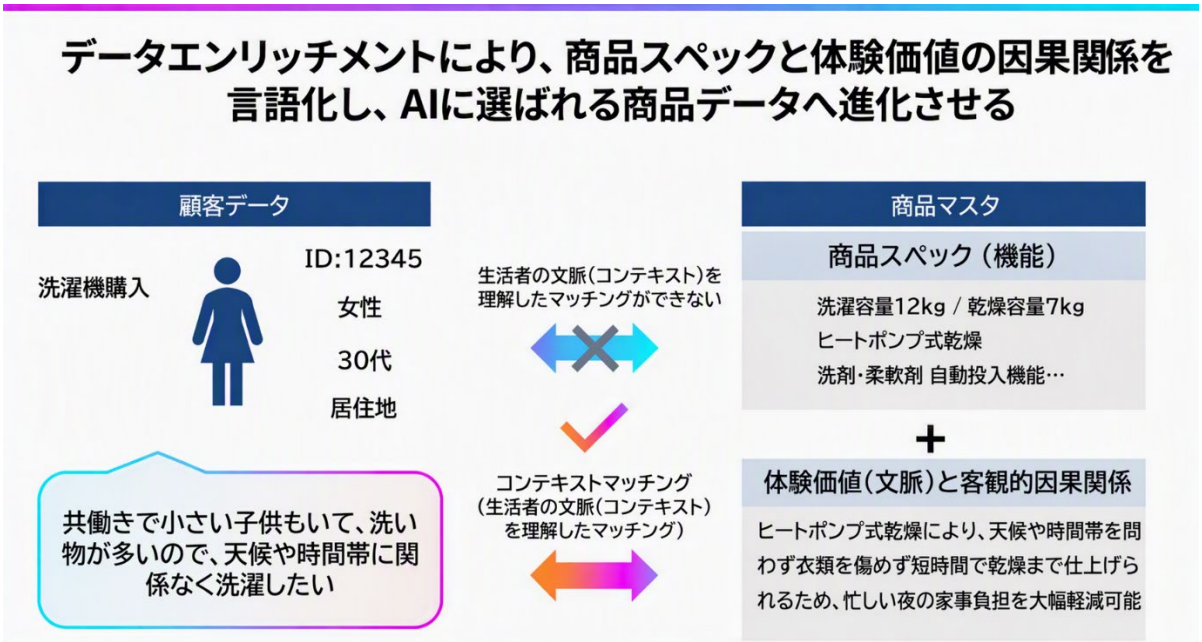
■本ソリューションの概要と特長

企業が保有する従来の商品データを、AI エージェントが高度に解釈・マッチングできる状態へとリッチ化（エンリッチメント）し、Shopify の機能と連携させることで、企業と生活者に以下の新しい価値を提供します。

1. AI に発見されやすくなる「文脈データ」の生成技術（特許出願中技術）

最大の特徴は生活者が求める体験価値を抽出し、商品のスペックとの間にある客観的因果関係を『Logic Bridge』として自動生成・構造化する特許出願中の独自技術にあります。例えば、ある洗濯機の「稼働音 32dB・ヒートポンプ式（スペック）」というデータに対し、「共働き世帯が、天候を気にせず夜中でも静かに乾燥まで完了できる（体験価値）」という Logic Bridge を生成し、データベース化して商品マスタに格納します。これにより、ユーザーが AI に悩みを相談した際、AI エージェントが文脈を正確に捉え、自社商品を適切に推奨するデータ構造を実現します。

（参考：https://www.hakuhodody-one.co.jp/news/2026/10/4brue6i95tw/）



2. 継続的なデータチューニングによる PDCA 運用

テストクエリを用いた AI による推奨精度の検証や、外部 AI 経由のトラフィック貢献度を定点観測します。「データを増やして終わり」ではなく、得られた結果をもとに商品データを継続的にチューニングし、AI からの発見性を恒常的に高め続けます。

3. Shopify 連携によるシームレスな購買体験の実現

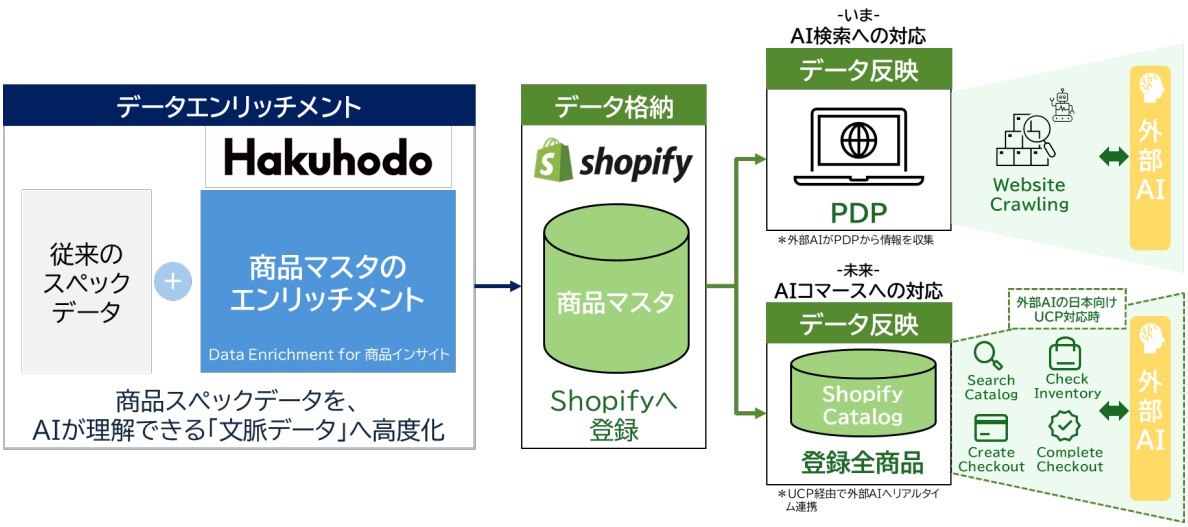
AI によって商品が推奨された後、生活者が AI 上のリンクから購入へ向かう際、Shopify の決済基盤を活用したシームレスな購入導線の確保を実現します。商品発見から購入まで、生活者にとってストレスのない購買体験の実現を支援します。

■Shopify との連携について

本ソリューションで生成・拡張された商品情報は、Shopify 上の商品マスタや商品説明、メタフィールド等に反映し、一元的に管理・整備します。

今回の連携により、商品ページ（PDP）等のデータを外部 AI 向けに最適化して AI での発見率を高めるとともに、AI の提案から Shopify の決済体験へ直結させるシームレスな導線を、大規模な追加開発なしで実現します。

さらに、Shopify は次世代規格「UCP（Universal Commerce Protocol）」を共同開発し、標準で採用しているため、今後外部 AI 側の国内対応が進んだ際にも、リアルタイムでの在庫確認や AI 上での購買完結など、高度な「AI コマース」へ即座に適応できる拡張性を備えています。



■今後の展開

今後は、商品データのみならず顧客データのエンリッチメントといった領域にも取り組み、外部 AI による「集客」からオウンドストア内の AI エージェントによる「接客」まで、一気通貫でパーソナライズされた購買体験の実現を目指します。Hakuhodo DY ONE と博報堂は博報堂ＤＹグループの横断的な AI 専門家集団 HCAI Professionals の活動として、今後も Shopify の高度なコマース基盤との連携をさらに深め、データ整備から未来の購買体験の形まで、企業と生活者の間に新たな接点と価値を継続的に創出していきます。

■Agentic Commerce ONE™について

「生活者の代わりに AI が検索・比較・決済までを自律的に代行する時代」を見据えた、博報堂ＤＹグループによる次世代コマース領域の統合ソリューション群となります。企業の戦略策定からブランド体験設計、AI 時代に対応したデータ基盤の整備、実装・運用までをワンストップ（エンドツーエンド）で支援します。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社 Hakuhodo DY ONE　広報担当　E-mail：info-pr@hakuhodody-one.co.jp
株式会社博報堂　広報室　大貫・丸山　koho.mail@hakuhodo.co.jp